

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : COS banker II [Cell Freezing Medium]
製品番号 : COS-CFM02 (メーカー略号: KOJ)
構成品名 : COS banker II [Cell Freezing Medium]
会社名 : コスモ・バイオ株式会社
住所 : 東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署 : 製品情報部
電話番号 : 03-5632-9610 FAX : 03-5632-9619
e-mail address : mail@cosmobio.co.jp
推奨用途 : 試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 2(呼吸器)

GHSラベル要素



注意喚起語: 警告

危険有害性情報

臓器の障害のおそれ(呼吸器)

注意書き

本製品はヒト由来成分を含有する。

潜在的な感染リスクを考慮し、十分な安全対策をもって取り扱うこと。

安全対策

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分 : ジメチルスルホキシド(含有量非公開)(CAS RN[®]: 67-68-5)、ヒト血清アルブミン

危険有害成分

毒物及び劇物取締法, 安衛法「表示、通知すべき有害物」, 化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

多量の水と石けんで洗うこと。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。

可能であれば吐き出させ、直ちに医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

データなし

特有の危険有害性

火災によって刺激性、毒性または腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

本製品はヒト由来成分を含有するため、漂白剤処理で不活化する等、生体試料としての適切な処分を行う。汚染箇所を完全に清掃する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

安全取扱注意事項

容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

保管

安全な保管条件

4°Cで保存すること。日光を避け、換気の良い涼しい場所で保管すること。

安全な容器包装材料

ガラス(本製品はDMSOによるPET容器の腐食を避ける為、ガラス瓶を採用している。)

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：データなし

許容濃度：データなし

ばく露防止**設備対策**

適切な換気のある場所で取扱う。
洗眼設備・安全シャワーを設けること。

保護具**呼吸用保護具**

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：液体

色：淡黄色～淡赤色

臭い：無臭

沸点又は初留点及び沸点範囲：約100℃

可燃性(ガス、液体及び固体)：データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データなし

引火点：データなし

自然発火点：データなし

分解温度：データなし

pH：6.6～7.6

動粘性率：データなし

蒸気圧：データなし

密度/相対密度：データなし

相対ガス密度(空気=1)：データなし

粒子特性：該当なし

10. 安定性及び反応性**反応性**

データなし

化学的安定性

通常取り扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

日光、高温

混触危険物質

データなし

危険有害な分解生成物

亜硫酸ガス、硫黄酸化物

11. 有害性情報**急性毒性****急性毒性(経口)**

[日本公表根拠データ]

(ジメチルスルホキシド)

rat LD50=14500mg/kg (環境省リスク評価書第13巻, 2015)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

(ジメチルスルホキサイド)

rat LD50=40000mg/kg (環境省リスク評価書第13巻, 2015)

急性毒性(吸入)

[日本公表根拠データ]

(ジメチルスルホキサイド)

mist: rat LC50 >5330mg/m³ (5.33mg/L) (SIDS, 2008)

局所効果

皮膚腐食性/刺激性 : データなし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : データなし

呼吸器感作性又は皮膚感作性 : データなし

生殖細胞変異原性 : データなし

発がん性 : データなし

催奇形性 : データなし

生殖毒性 : データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分2]

[日本公表根拠データ]

(ジメチルスルホキサイド)

呼吸器 (SIDS, 2008)

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : データなし

誤えん有害性 : データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(ジメチルスルホキサイド)

甲殻類(ブラインシュリンプ) EC50=6830mg/L/24hr(環境省リスク評価第13巻, 2015)

水溶解度

(ジメチルスルホキサイド)

混和する (ICSC, 2000)

残留性・分解性 : データなし

生体蓄積性

(ジメチルスルホキサイド)

log Pow=-1.35 (calculated) (ICSC, 2000)

土壤中の移動性 : データなし

オゾン層への有害性 : データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。漂白剤処理等で不活化すること。

汚染容器及び包装

容器の再使用、リサイクルは不可。地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類 : 非該当

注意事項 輸送前に容器の破損、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

国内規制がある場合の規制情報：非該当

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：非該当

労働安全衛生法：非該当

化学物質管理促進(PRTR)法：非該当

消防法：非該当

化審法：非該当

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (7th revised edition, 2017), UN Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN

IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)

IATA 航空危険物規則書 第60版 (2019年)

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)

2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

Supplier's data/information

ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。